

PosterJet 8.75 仮想プリンタードライバーの インストール

第 1 版

目次

1	はじめに	2
2	商標・ライセンスについて	2
3	インストールの準備	3
3.1	アカウントの作成	3
3.2	用途に応じたインストール作業	3
4	仮想プリンタードライバーのインストール	4
5	他の Windows に仮想プリンタードライバーをインストールする方法	6
6	CUPS プリンタードライバーのインストール	8
6.1	インストール前の準備	8
6.1.1	LPD 印刷サービスの有効化	8
6.1.2	CUPS の Web インターフェースの有効化	9
6.1.3	PPD ファイルのコピー	9
6.2	CUPS プリンタードライバーのインストール	10
7	複数のロール紙給紙段を持つプリンターの場合	15
8	EPSON プリンター名対応表	18
9	オーバープリントを印刷するときの注意事項	19

1 はじめに

Illustrator や Acrobat 等のアプリケーションソフトから直接 PosterJet に印刷データを送り、接続されているプリンターに印刷する為には、PosterJet 仮想プリンタードライバー(以下、仮想プリンタードライバーといいます)を使います。

この仮想プリンタードライバーを使った印刷はクライアントのライセンス数には制限されることなく印刷することができます。ただし、最低でもどれか1台の PosterJet クライアントを PosterJet サーバーに接続しておく必要があります。

ここでは、Windows や Mac のアプリケーションソフトから印刷に必要な仮想プリンタードライバーのインストール方法を説明します。

2 商標・ライセンスについて

- Microsoft は、Microsoft Corporation の登録商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- インテル、Intel、および Pentium は、Intel Corporation の商標または登録商標です。
- Mac、Mac OS、macOS、OS X および Bonjour は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- AMD、AMD Arrow ロゴ、Ryzen およびその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。
- SafeNet、Sentinel は、SafeNet, Inc. の商標または登録商標です。
- 本書で言及しているその他すべての製品名は、各社の商標または登録商標です。

3 インストールの準備

3.1 アカウントの作成

クライアントの Windows や Mac からいずれの方法で仮想プリンタードライバーを使う場合には、PosterJet サーバーPC(サーバーPC)にログインする必要があります。そのためには、サーバーPC のローカルのユーザーアカウント([管理者]または[標準ユーザー])が必要です。

5章以降の仮想プリンタードライバーのインストール作業等を行う前に、アカウントを作成し、そのアカウントでログインできることを確認してください。また、アカウントのアクセス権限の種類は[管理者]、[標準ユーザー]、いずれのアカウントでインストールすることができます。

3.2 用途に応じたインストール作業

用途に応じて、インストールする作業が違います。下記の3つの用途に対応した手順を確認した上で、インストール作業を行ってください。

① サーバーPC からアプリケーションソフトを起動して印刷

⇒ 4章に従ってインストールを行ってください。

② クライアント(Windows)からアプリケーションソフトを起動して印刷

サーバーPC に共有プリンターとして仮想プリンタードライバーをインストールしたのち、クライアントの Windows PC に仮想プリンタードライバーのインストールを行います。

⇒ 4章と5章のインストール作業を行ってください。

③ クライアント(Mac)からアプリケーションソフトを起動して印刷

サーバーPC に共有プリンターとして仮想プリンタードライバーをインストールしたのち、クライアントの Mac に Windows の共有プリンター経由で印刷をするための CUPS プリンタードライバーのインストールを行います。

⇒ 4章と6章のインストール作業を行ってください。

4 仮想プリンタードライバーのインストール

サーバーPC に仮想プリンタードライバーをインストールする手順を説明します。

ステップ1:Windows の「スタート」から「設定」を選択し、デバイスの「プリンターとスキャナー」を選択します。そして「プリンターまたはスキャナーを追加します」を選択します。

次に、「プリンターが一覧にない場合」が表示されたら、「プリンターが一覧にない場合」をクリックし、続行します。

ステップ2:「その他のオプションでプリンター検索」の画面で、「ローカルプリンターまたは、ネットワークプリンターを手動で追加する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

ステップ3:「プリンターポートの選択」の画面で、「既存のポートを使用」から"PosterJetV8: (Virtual printer port for PosterJet V 8)"を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

ステップ4:「プリンタードライバーのインストール」の画面では、[ディスク使用]ボタンをクリックし、Cドライブの“Temp”フォルダー内の“PosterJet_875”フォルダーの中にある“PPD”フォルダーの中からお使いの OS と言語のフォルダーを選択し、その中に入っている、「PosterJet.inf」ファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

ステップ5:リストから使用するプリンターのモデルを選択し、次へ進みます。EPSON のプリンターは、欧州と日本で製品名称が異なります。従い、【8. EPSON プリンター名対応表】を参照し、選択してください。なお、HP 及び Canon のプリンター名称は、欧州/日本で同一名称です。従い、ご使用の製品名称を選んでください。

ステップ6:「プリンター名を入力してください」の画面で、仮想プリンターの名前を変更することができます。

複数のロール紙給紙ユニットを持つプリンターの場合は、対応するロール紙給紙ユニットのジョブを識別するために名前にメモ(“Roll2”等)を追加してください。詳細は【7. 複数のロール紙給紙段のプリンターを持つ場合の設定】を参照ください。



ステップ7:「プリンター共有」の画面では、仮想プリンターをネットワークで共有するかどうかを選択できます。

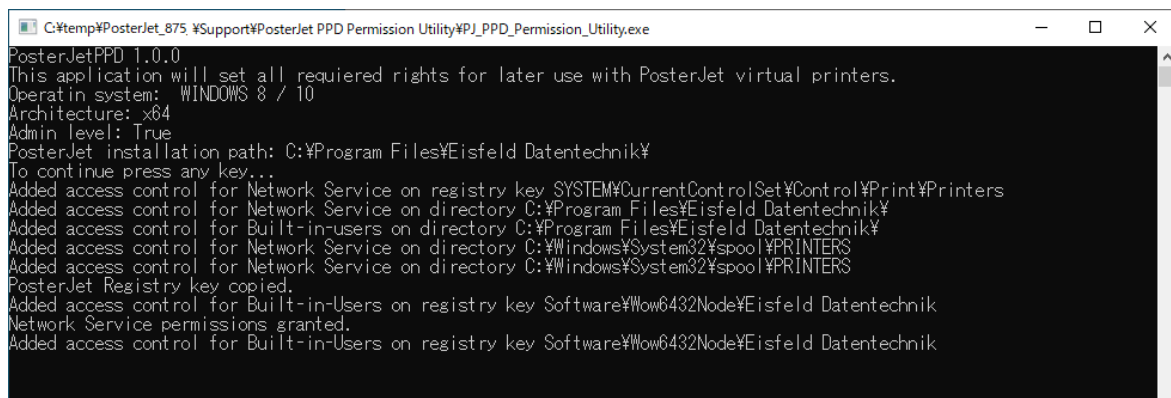
Windows や Mac からアプリケーションソフトを使って印刷する場合は、「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索、および使用できるようにする」を選択してください。さらに、Macから印刷する場合には、ネットワーク内での識別のために「共有名」にプリンターに名前を付ける必要があります。その場合、プリンター名の中に“スペース”を使わないでください。(例:Canon_TM-200_by_PosterJetのようにスペースの代わりにアンダースコアを使う)設定が終わりましたら、[次へ]ボタンをクリックします。

ステップ8:仮想プリンタードライバーのインストール後に仮想プリンタードライバーが正しく動作するようにサーバーPCの Windows OS のアクセス権を「PJ_PPD_Permission_Utility.exe」というツールで設定します。このツールを使う前に PosterJet サーバーと PosterJet クライアントを終了して下さい。

「PJ_PPD_Permission_Utility.exe」ファイルをマウスの右ボタンでクリックし、コンテキストメニューから「管理者として実行」を選択します。

このツールは C ドライブに作成した“Temp”フォルダーの下の“PosterJet_875”の下の“Support”の下の“PosterJet PPD Permission Utility”の下に保存されています。

このツールが起動すると下記のウィンドウが開き、設定が完了すると自動的に閉じます。



```
C:\temp\PosterJet_875\Support\PosterJet PPD Permission Utility\PJ_PPD_Permission_Utility.exe
PosterJetPPD 1.0.0
This application will set all required rights for later use with PosterJet virtual printers.
Operatin system: WINDOWS 8 / 10
Architecture: x64
Admin level: True
PosterJet installation path: C:\Program Files\Eisfeld Datentechnik
To continue press any key...
Added access control for Network Service on registry key SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Print\Printers
Added access control for Network Service on directory C:\Program Files\Eisfeld Datentechnik
Added access control for Built-in-users on directory C:\Program Files\Eisfeld Datentechnik
Added access control for Network Service on directory C:\Windows\System32\spool\PRINTERS
Added access control for Network Service on directory C:\Windows\System32\spool\PRINTERS
PosterJet Registry key copied.
Added access control for Built-in-Users on registry key Software\Wow6432Node\Eisfeld Datentechnik
Network Service permissions granted.
Added access control for Built-in-Users on registry key Software\Wow6432Node\Eisfeld Datentechnik
```

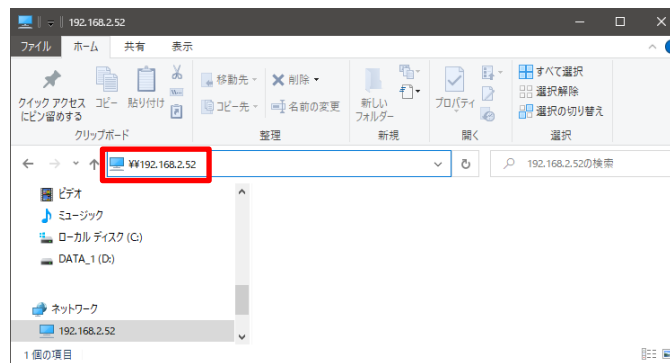
以上で、サーバーPCにPosterJet仮想プリンタードライバーをインストールする手順の説明は終わります。

5 他の Windows に仮想プリンタードライバーをインストールする方法

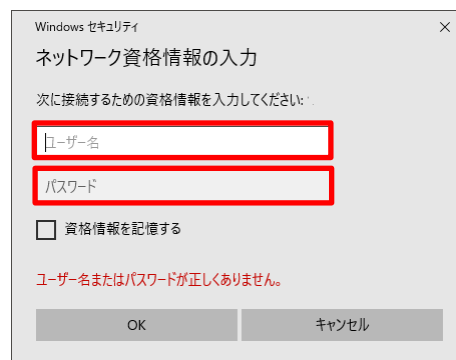
ステップ1:サーバーPC に設定されている共有プリンターを検索します。
 エクスプローラーを開き、下記の例に従って、サーバーPC の IP アドレスもしくは、コンピューター名を入力します。

IP アドレスの場合 : ¥¥IP アドレス / コンピューター名の場合: ¥¥コンピューター名

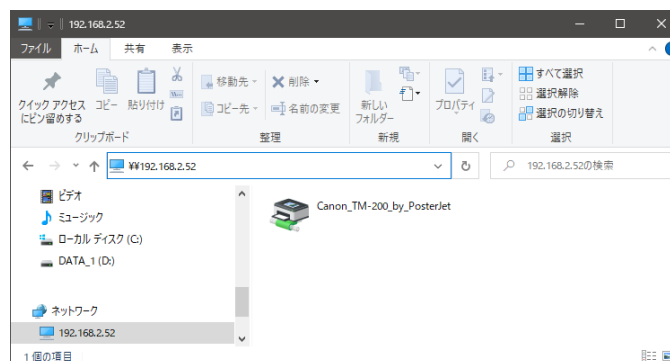
例:サーバーPC の IP アドレスが192.168.2.52の場合 : ¥¥192.168.1.52



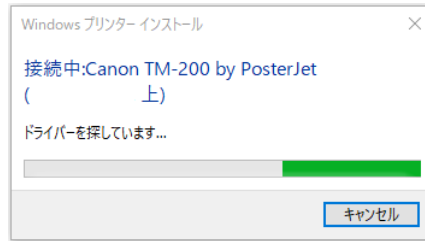
サーバーPC が見つかったら、「ネットワーク資格情報の入力」のウィンドウが表示されます。
 ステップ2のインストールの準備で作成したアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。



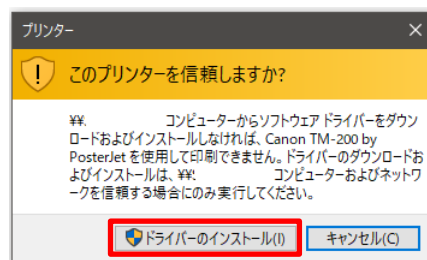
ログインが完了すると、共有されたプリンターが表示されます。



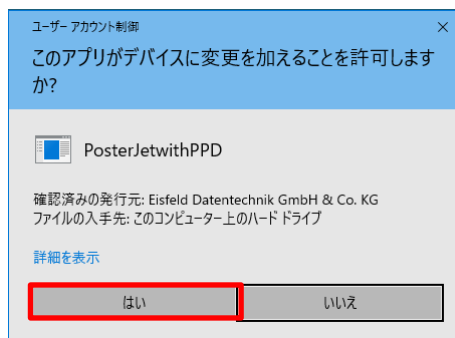
ステップ3: プリンターの追加を行います。
表示された共有プリンターをダブルクリックすると仮想プリンタードライバのインストールが始まります。



途中、インストールするドライバーの信頼性を確認するダイアログが表示され、インストールしようとしているプリンターであることを確認し、「ドライバーのインストール」ボタンをクリックします。



途中、以下の「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示され、[はい]ボタンをクリックします。



仮想プリンタードライバのインストールが進み、「設定」の中に、プリンターが作成されたら、すべての作業が完了です。



6 CUPS プリンタードライバーのインストール

サーバーPC で共有設定された共有プリンターを CUPS プリンタードライバー経由で印刷を行います。

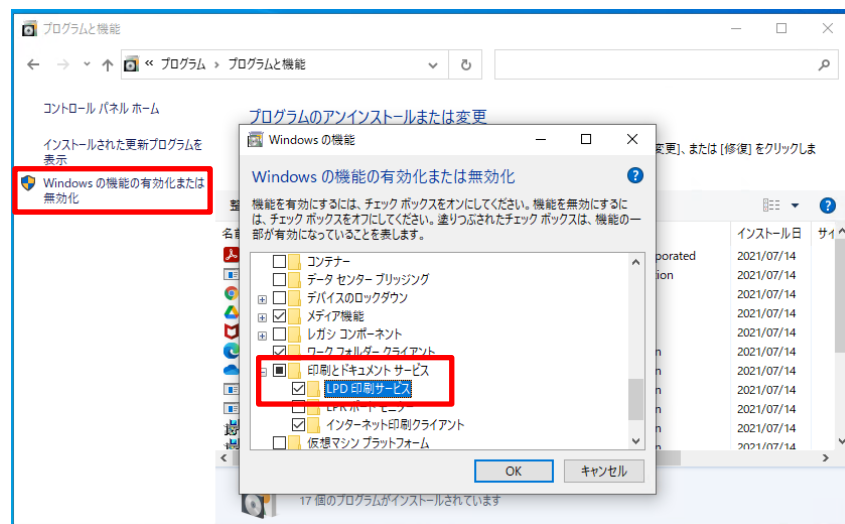
6.1 インストール前の準備

Mac でのインストール作業の前に「LPD 印刷サービスの有効化」と「CUPS の Web インターフェースの有効化」を行ってください。

6.1.1 LPD 印刷サービスの有効化

[コントロールパネル] - [プログラム] - [プログラムと機能またはプログラムのアンインストール]- [Windows の機能の有効化または無効化]を選択してください。

「Windows の機能」ウィンドウの中にある、LPD 印刷サービスにチェックを入れて、「OK」ボタンをクリックしてください。



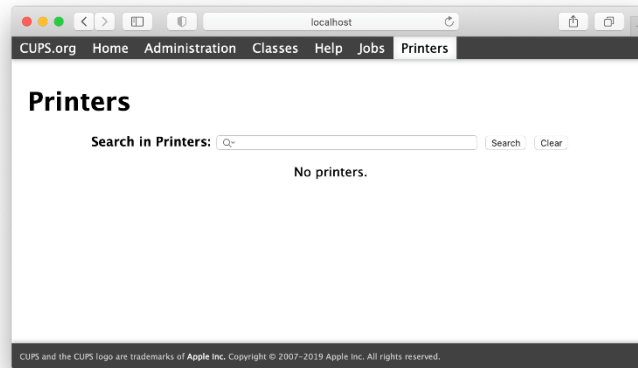
「必要な変更が完了しました」と表示されたら、「閉じる」ボタンをクリックして LPD 印刷サービスの有効化作業は完了です。



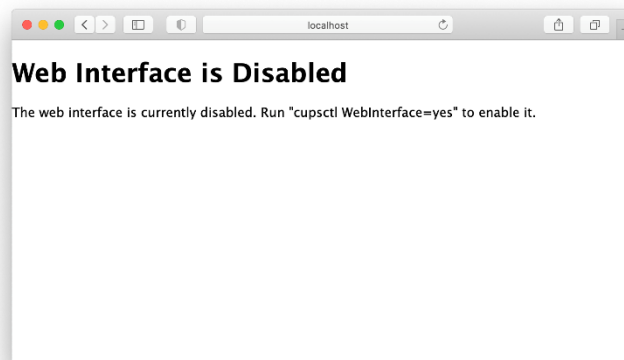
6.1.2 CUPS の Web インターフェースの有効化

ターミナルを起動し、「`cupswctl WebInterface=yes`」と打ち込みます。

CUPS のプリンター設定ページ(<http://localhost:631/printers/>)にアクセスし、下記の設定画面が表示されることを確認してください。



<参考>CUPS の Web インターフェースの有効化がされていない状態で、CUPS のプリンター設定ページ (<http://localhost:631/printers/>)にアクセスをすると下記の表示となります。

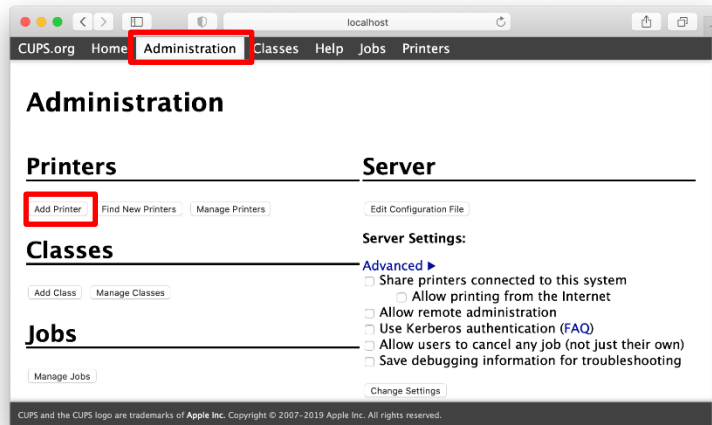


6.1.3 PPD ファイルのコピー

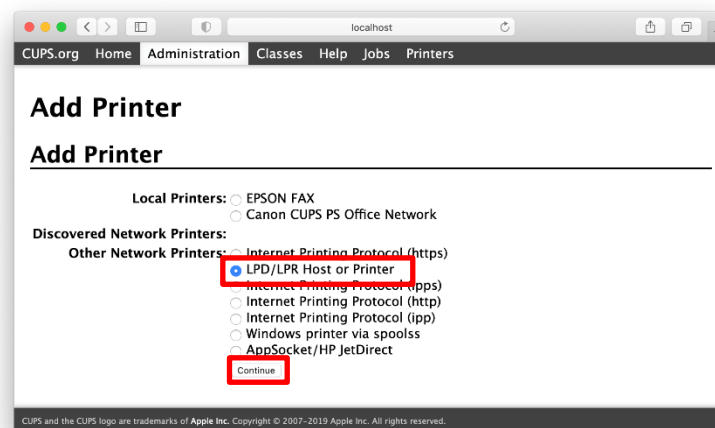
サーバーPC の C ドライブに作成した「Temp」の下の「PPD」の下にある、“PPD_WIN64Bit_japanese”フォルダーを Mac にコピーしておいてください。

6.2 CUPS プリンタードライバーのインストール

ステップ1:「Administration」タブをクリックします。「Printers」セクションの下にある、「Add Printer」をクリックします。



ステップ2:「LPD/LPR Host or Printer」をチェックし、「Continue」ボタンをクリックします。



ステップ3:「Connection」にサーバーPCのIPアドレスと【4.仮想プリンタードライバーのインストール】/[ステップ7]で設定した共有プリンター名を入力し、「Continue」ボタンをクリックします。

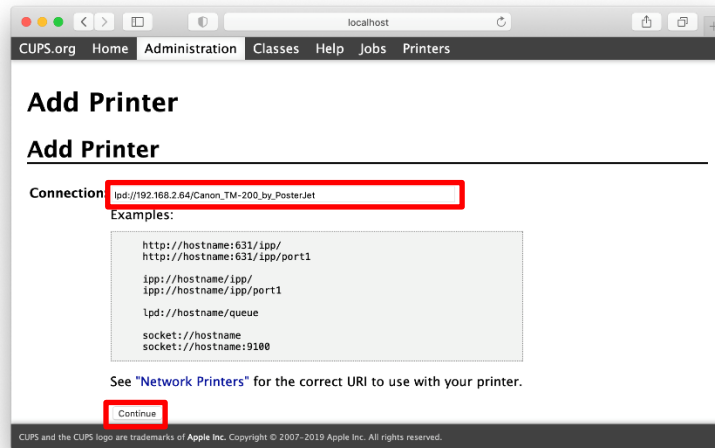
例:

サーバーPCのIPアドレス: 192.168.2.64

共有プリンター名: Canon_TM-200_by_PosterJet

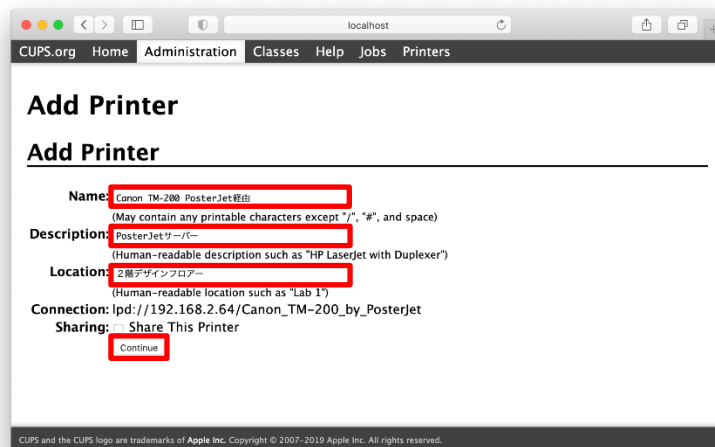
の場合

`lpd://192.168.2.64/Canon_TM-200_by_PosterJet`

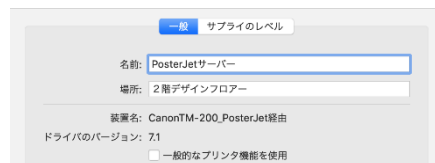


ステップ4:必要に応じて、名前やプリンターを特定するための情報を入力します。いずれも、「プリンターとスキャナー」ウィンドウ内で表示される名称や情報です。入力が終わったら、「Continue」ボタンをクリックします。

注意:「Name」にはスペース、「/」、「#」は使えません。



<参考>ここで入力した情報は macOS 上では下記のウィンドウで見ることができます。



ステップ5: 「Make」メニューの中から、「Generic」を選択し、「Continue」ボタンをクリックします。



ステップ6: 「Or Provide a PPD File」の「ファイルを選択」ボタンをクリックします。



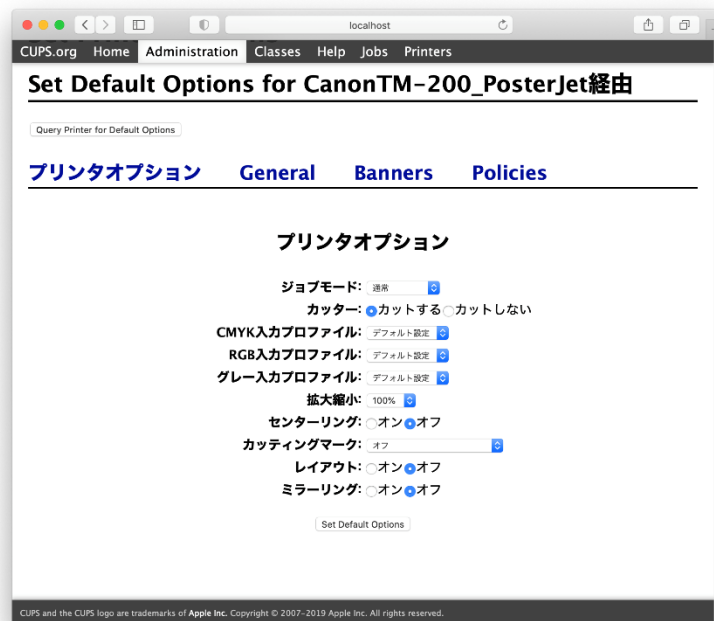
ステップ7: インストールするプリンターの PPD ファイルを選択し、「アップロード用に選択」ボタンをクリックします。



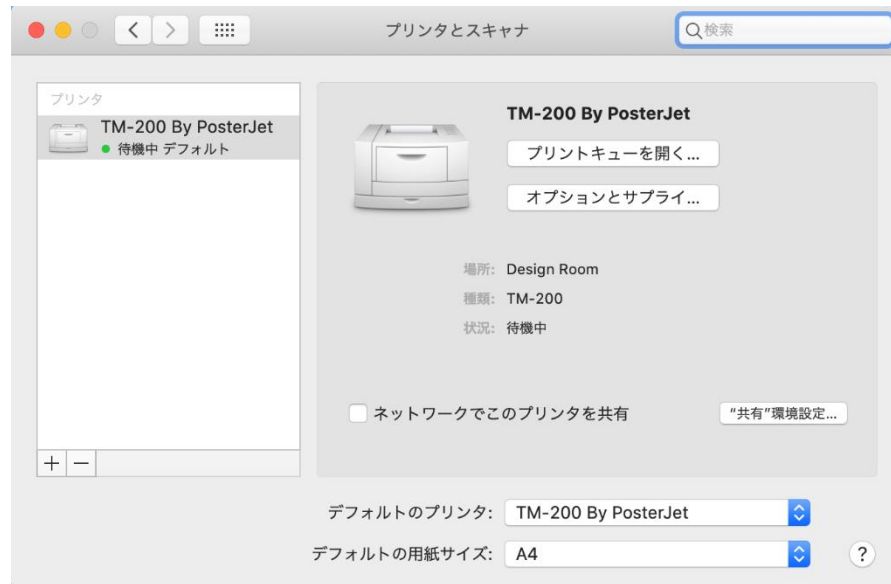
ステップ8: PPD が組み込まれると、「Or Provide a PPD File」の右側に機種名が表示されます。追加したプリンター名が表示されたのを確認し、「Add Printer」ボタンをクリックします。



下記の画面が表示されて、CUPS We インターフェース上での設定は終了です。



ステップ9:「システム環境設定」の「プリンターとスキャナ」を開き、追加したプリンターが表示されていることを確認してください。



Mac でアプリケーションソフトを起動して印刷するための CUPS プリンターの追加は終了です。

注意：一部のアプリケーションソフトウェアで、日本語ファイル名のファイルを開いて、印刷する場合、PosterJet クライアントのメインプリントキュー上の表示されるジョブ名の文字化けが発生します。

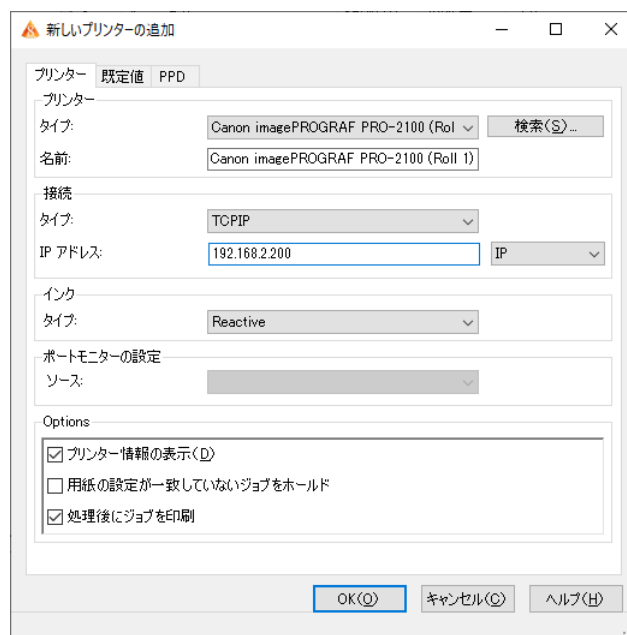
7 複数のロール紙給紙段を持つプリンターの場合

ここでは、ロール紙の給紙段を2つ装備する（オプションを含む）ことができるプリンターに対する仮想プリンタードライバーの設定方法について説明します。

お願い：複数のロール紙給紙段を使って印刷をする場合には、プリンター追加のライセンスが必要となります。お手数ですが、お買い上げいただきました販売店までご相談くださるようお願いいたします。

ステップ1:2台のプリンターを追加する

[新しいプリンターの追加から、プリンター名の末尾に“(Roll 1)”もしくは“(Roll 2)”が付いているプリンターを選択し、設定を行ってください。

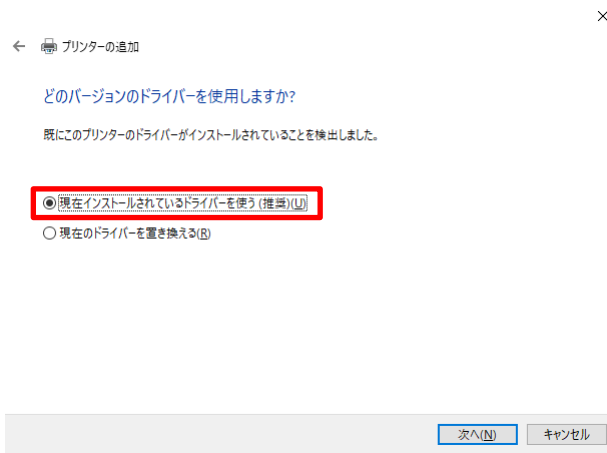


ステップ2:「4章仮想プリンタードライバーのインストール」のステップ5まで進みます。

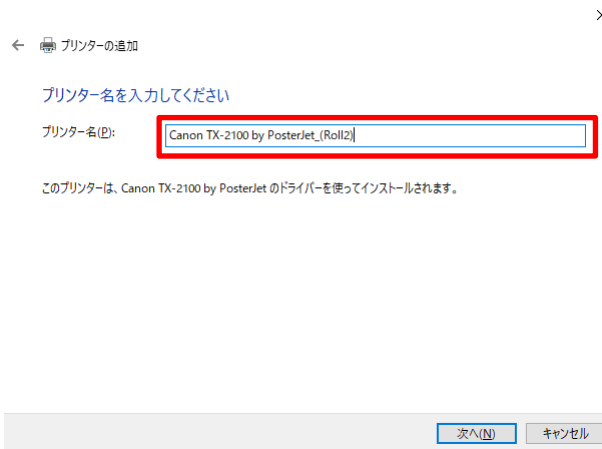
ステップ3:「プリンター名を入力してください」の画面で、仮想プリンターの名前を変更することができます。ここでは、まず、“(Roll1)”として設定を行います。



ステップ4:「プリンター名を入力してください」次に、再び、「4 章仮想プリンタードライバーのインストール」のステップ1まで戻り、ステップ 5 まで進みます。
途中、[どのバージョンのドライバーを使用しますか?] ウィンドウで、[現在インストールされているドライバーを使う]を選択します。



ステップ5:同じ操作を繰り返し、次の[プリンター名を入力してください]の画面では、もう1つの“(Roll2)”として設定を行います。

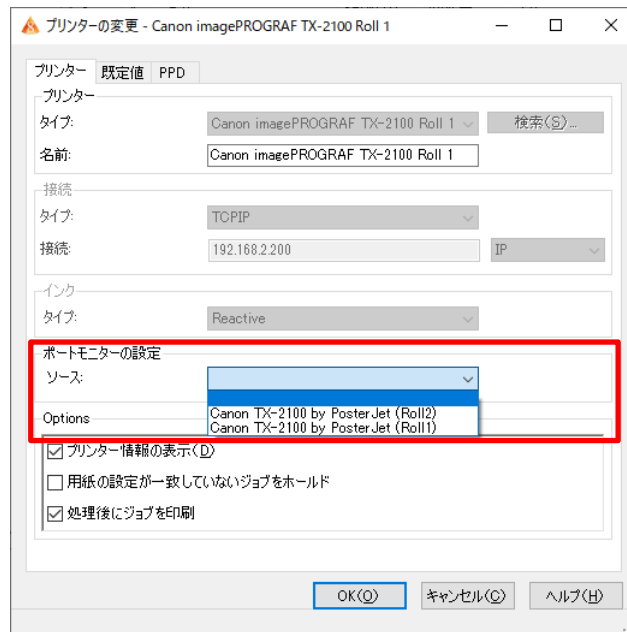


ステップ6:アクセス権の設定を行います。

4章ステップ8と PosterJet サーバーと PosterJet クライアントを終了したのち、"PJ_PPD_Permission_Utility.exe"ファイルをマウスの右ボタンでクリックし、コンテキストメニューから「管理者として実行」を選択し、アクセス権の設定を行います。

ステップ7:プリンターと仮想プリンタードライバの紐付けおこないます。

プリンターリスト上の登録してある1つのプリンターの[プリンターの変更]を開き、[ポートモニターの設定]から紐づける仮想プリンタードライバを選択します。この操作を繰り返し、2つの仮想プリンターの設定を行います。



以上で設定終了です。

8 EPSON プリンター名対応表

PPD ファイルを選択するときに、この対応表を参照してください。

使用するプリンター	選択するプリンター
EPSON Stylus Pro GS6000	Epson Stylus Pro GS6000 by PosterJet
Epson SureColor SC-P10050	Epson SureColor SC-P10000 by PosterJet
Epson SureColor SC-P20050	Epson SureColor SC-P20000 by PosterJet
Epson SureColor SC-P5050G	Epson SureColor SC-P5000 LLK by PosterJet
Epson SureColor SC-P5050V	Epson SureColor SC-P5000 VIOLET by PosterJet
Epson SureColor SC-P6050	Epson SureColor SC-P6000 by PosterJet
Epson SureColor SC-P8050	Epson SureColor SC-P8000 by PosterJet
Epson SureColor SC-P7550	Epson SureColor SC-P7500 by PosterJet
Epson SureColor SC-P9550	Epson SureColor SC-P9500 by PosterJet
Epson SureColor SC-P7050G	Epson SureColor SC-P7000 LLK by PosterJet
Epson SureColor SC-P9050G	Epson SureColor SC-P9000 LLK by PosterJet
Epson SureColor SC-P7050V	Epson SureColor SC-P7000 VIOLET by PosterJet
Epson SureColor SC-P9050V	Epson SureColor SC-P9000 VIOLET by PosterJet
Epson SureColor SC-T5255	Epson SureColor SC-T5200 by PosterJet
Epson SureColor SC-T5255D	Epson SureColor SC-T5200D by PosterJet
Epson SureColor SC-T7255	Epson SureColor SC-T7200 by PosterJet
Epson SureColor SC-T7255D	Epson SureColor SC-T7200D by PosterJet
Epson SureColor SC-S80650(L)	Epson SureColor SC-S80600(L) by PosterJet

9 オーバープリントを印刷するときの注意事項

Adobe Acrobat からオーバープリントの設定が行われている PDF ファイルを印刷する場合は、「印刷」ウィンドウの「詳細設定」開き、「オーバープリントをシミュレート」にチェックを入れてください。

